

土佐和紙総合戦略

(基本方針ごと) 令和3年度の取り組み実績について

基本方針① 土佐和紙の原料確保

- ◆CSR活動に取り組む企業とこうぞ産地のマッチング【随時】
- ◆こうぞ生産者の状況調査（地域特産物調査）・取りまとめ【5月～9月下旬】
【調査結果】R2年1月～12月の楮栽培面積：7.27ha（前年(R元)比▲0.19ha）
楮（黒皮）生産量：7.51t（前年比▲1.93t）
楮栽培農家件数：49軒（前年比▲6軒）
- ◆こうぞ生産者と和紙生産者との意見交換会開催【9月】
【参加者】楮生産者及び和紙生産者9名、関係団体3名、県・市町村関係課16名
【内容】原料（楮）確保における現状と課題を共有。今後、新たな取り組みに向けたワークショップ及び勉強会を開催。（第1回：1月開催）
- ◆土佐和紙工芸村こうぞ皮はぎ体験【1月】
和紙職人・工芸村関係者・地域の方々が参加
- ◆楮についてのワークショップの開催【1月】
【参加者数】14名（うち楮生産者及び和紙生産者6名）
【内容】（1）楮の加工作業における機械の導入事例の紹介
（2）今後の取り組みについての意見交換等

基本方針② 用具の確保と土佐和紙生産者の後継者育成

- ◆伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業費補助金を活用した後継者育成【随時】
【相談者数】2名（県外1名、県内1名）
※補助金制度概要の説明等を行ったが、制度活用には至らず
- ◆用具（簀、桁）の貸し出し【随時】
【実績】簀、桁共に貸し出し実績0
※手すき和紙協同組合総会資料で貸し出し制度についてお知らせ（郵送）
- ◆用具保存会の活動及び活動に対する支援【通年】
 - ・令和3年度補助事業計画書の内容確認（5月末）
※簀桁の製作技術研修会（京都会場）は、9月に実施。
 - ・用具保存後継者養成事業計画を協議・確認（5月末）
※漉き簀2名、金具1名、竹片子1名・1グループ、漉き桁4名
 - ・簀桁製作技術向上の研修会は京都で実施（9月）

	<ul style="list-style-type: none"> ・編み糸の研修会は中止（東京都あきる野市） ・用具後継者の養成計画の検討（文化庁と協議）（10月） ⇒令和4年度事業計画（案）を基に、簀き簀、竹片子、萱片子、漉き桁の研修を協議・確認 ・令和4年度国庫補助事業計画書作成済み（10月） 【後継者養成】簀き簀（1名）、竹片子（1名）、萱片子（1名）、漉き桁（3名） ・用具保存会、文化庁補助金ヒアリング ⇒令和4年度補助事業計画に係る文化庁補助金ヒアリング実施（12/22） ・用具保存会、国庫補助金申請 ⇒令和4年1月28日付け「令和4年度 国宝重要文化財等保存・活用費補助金交付申請書」提出 <p>◆伝統的工芸品産業等後継者育成に係る研修受入団体等への聞き取り調査の実施【4月～5月】</p> <p>【調査対象】手漉き18社</p> <p>【結果】受け入れ可能と答える事業者もいる一方、体力面での負担の大きさや受け入れるための環境が整っていないなどの理由により、難しいとの回答が多数。</p> <p>◆伝統的工芸品産業等後継者育成研修修了者による活動報告及び研修生との意見交換、交流会の開催【11月】</p> <p>【意見交換 参加者】研修生3名、研修修了生8名（うち土佐和紙の研修修了生3名）</p> <p>【ものづくり総合技術展でのPR】高知県伝統的工芸品等展示コーナーにて、修了生・研修生の作品を展示（土佐和紙の研修修了生2名、土佐硯の研修修了生1名がブースにてPR実施）</p> <p>◆移住希望者対象イベント「高知暮らしフェア」への出展（12/12 東京）</p> <p>⇒伝統産業分野への相談者は3名。うち土佐和紙に関する相談は0名。</p>
--	---

基本方針③ 土佐和紙のPR・販売促進・新商品開発

	<p>◆県立文化施設等での土佐和紙PRと販売【通年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知みらい科学館での伝統的工芸品等PRのための常設展示 ・いの町紙の博物館販売コーナーのリニューアル（9月） <p>◆土佐和紙に関する研究の実施【通年】</p> <p>【研究テーマ】原料や製造工程の違いが和紙の特性に及ぼす影響について</p> <p>◆県立文化施設等での企画展開催【随時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーテピア図書館での伝統的工芸品等PRに向けたパネル展示（7/1～7/31） ・海洋堂スペースファクトリー南国での夏休み企画「土佐和紙ワークショップ」の開催→中止 ・オーテピア図書館での伝統的工芸品等PRに向けたパネル展示（12/9～12/22）
--	---

◆**新商品開発等のための技術支援【随時】**

【実績】12回（商品件数：4件）

◆**県外でのPR・外商活動**

◇イベント関係

- ・「Tokyo Tokyo ALL JAPAN COLECTION」での土佐和紙PR（7/19～7/21）
【総来場者数】1,016名
【展示品】伝統的工芸品・特産品 ※加工品含む。希望者にはパンフレットを配布
【その他】東京オリンピック・パラリンピック関係者への記念品として、本県から土佐清帳紙の「和綴じ帳」を贈呈。上記イベントにおいても、1点を会場内に展示。
- ・品川区PRブース「しながわハウス」でのPR（7月下旬）→中止

◇見本市、商談会等

- ・大阪インターナショナルギフトショー 2021 出展（9/16～9/17）
⇒6社参加：名刺交換数417人うち可能性あり66案件
（紙関係企業（株）モリサ出展）
- ・国際雑貨 EXPO 関西出展（9/29～10/1）
⇒4社参加：名刺交換数241人うち可能性あり79案件 【紙関係企業】参加なし
- ・インテリアリビング出展（10/18～20 東京）
⇒9社参加：名刺交換数409人、うち可能性あり95案件
（紙関係企業 2社出展（①ひだか和紙 ②モリサ））
- ・ミニ展示商談会（木・紙、防災関連製品）開催（11/4 大阪（あべのハルカス））
⇒9社参加+高知県ブース
（紙関係企業）3社出展（①金星製紙 ②三昭紙業 ③モリサ）
- ・ミニ展示商談会（インテリアスタイル・リビング関連）開催（12/2 東京（第一ホテル東京））
⇒7社参加（紙関係企業 2社出展（①ひだか和紙 ②モリサ））
- ・東京インターナショナルギフト・ショー春 2022 出展（2/8～2/10）
⇒12社参加（紙関係企業 5社出展（①ひだか和紙 ②モリサ ③河野製紙
④機能素材⑤金星製紙））
- ・京都インターナショナルギフト・ショー2022 出展（3/9-10）
⇒5社参加（紙関係企業 参加なし）
- ・ミニ展示商談会（ギフト・ノベルティ）開催（3/3 東京）
⇒5社参加（紙関係企業 2社出展（①河野製紙 ②金星製紙））

◆**WEB 商談会（紙関係：9/15、9/22）**

⇒参加企業6社、商談相手8社と計13商談

【参加企業】①三昭紙業②三彩③三和製紙④富士紙化学⑤東陽特紙⑥内外典具帖紙

◆**メゾン・エ・オブジェ（インテリア・デザイン）市場調査実施（3/24～25 フランス）**

⇒（紙関係企業1社（モリサ）参加）

※事前調査には、他4社（うち紙関係企業 1社（ひだか和紙））も参加

	<p>◆ものづくり総合技術展への土佐和紙製品出展PR（11/11～13） 同技術展へのバイヤー招へいによる販路開拓（同上） ⇒高知県手すき和紙協同組合、高知県製紙工業会 出展 【総来場者数】23,500人 ※その他、高知県伝統的工芸品等展示コーナーにて土佐和紙製品をPR</p> <p>◆Kami祭の開催（11/23）</p>
--	---

基本方針④ 土佐和紙文化の発信と無形文化遺産登録

	<p>◆紙を使ったワークショップの開催（毎月1回） 【参加者数】4月：19名、5月：13名、6月：18名、7月：12名、8月：11名、 9月（コロナ禍の影響で12月に延期して実施）：14名、10月：9名、 11月：14名、12月：7名、1月：5名、2月：6名、3月：6名 延べ134名</p> <p>◆教育現場での土佐和紙の学習、啓発活動【随時】 ・小中学校による「いの町紙の博物館」見学（8/21～9/26まで新型コロナウイルス感染症の影響により休館）【小学校】55校、2,977名、【中学校】14校、595名 【その他】高校、大学からの見学もあり ・いの町や土佐市にて、土佐和紙について記載された副読本を配布</p> <p>◆他県の保持団体の活動状況（養成課程や運営体制）調査の実施【6月】 ・重要無形文化財に指定されている手漉き和紙技術保持団体（4団体）の活動状況調査の実施（7/6）→島根県及び福井県より回答有り</p> <p>◆紙とあそぼう作品展開催（7/21～8/15） 【応募数】43団体（個人含む）131名 【受賞数】大賞・吉井源太賞・土佐和紙賞 各1作品、その他34作品入賞 【作品展】総来場者数2,245名 【巡回展】8/19～10/21の期間5箇所で開催</p> <p>◆土佐和紙保存会と協議（課題の整理）、技術保持団体設立に向けた進め方の確認【12月】 ⇒土佐和紙保存会と今後の方向性について、協議を実施。（12/3）</p> <p>◆全国土佐和紙はがき絵展開催（2/26～3/31） 【応募点数】634点（27都道府県・香港より応募） 【来場者数】1,288名</p>
--	--

全般

<p>◆土佐和紙振興対策推進会議の開催【5月・12月】</p> <ul style="list-style-type: none">・第1回会議は新型コロナウイルス感染症の影響により、対面形式から、資料共有による書面形式に変更。・第2回会議は12/6開催 <p>◆土佐和紙生産量の実態調査の実施（4/19～5/31）</p> <p>[調査対象] 手漉き 18社、機械漉き 10社</p> <p>[R2 販売額] 手漉き 91,755 千円（前年比▲22,205 千円）、 機械漉き 387,752 千円（前年比▲72,631 千円）</p> <p>※新型コロナウイルスの影響により、手漉き・機械漉きともに販売額が減少。</p> <ul style="list-style-type: none">・上記と併せて、伝統的工芸品産業等後継者育成に係る聞き取り調査の実施 <p>[調査対象] 手漉き 18社</p> <p>[結果] 受け入れ可能と答える事業者もいる一方、体力面での負担の大きさや受け入れるための環境が整っていないなどの理由により、難しいとの回答が多数。</p>
--